

世界の麻疹発生状況(更新 1)

2011 年 3 月 22 日 ProMED 情報

(1)ウクライナ(ドネツク Donetsk 州, 2010) [Donetskye Novosti]

麻疹ワクチン供給の中断により、子供の免疫レベルが低下しました。ドネツク州の公衆衛生責任者によると、同州では、2007 年以降麻疹患者は報告されていませんでしたが、2010 年に麻疹患者 20 名が報告されました。また同州では、麻疹患者数の増加の別の要因として、特に小児に関して、住民における予防接種への否定的な姿勢があります。住民の 32%しか予防接種の必要性について理解していないとのこと。

(2)インド(ウッタル・プラデーシュ Uttar Pradesh 州)[The Times of India, Times News Network]

ウッタル・プラデーシュ州アラハバード Allahabad の病院は、毎日数十名以上の麻疹および水痘患者であふれています。保健専門家は事態を深刻に受け留め、住民が自ら健康を守るための感染予防を行うよう求めるとともに、予防のためのガイドラインを頒布しました。

(3)ニジェール[Afrique en Ligne, Panafrican News Agency (PANA) report]

国連人道支援事務所(OCHA)の報告によると、3月9日現在、ニジェールのニアメ Niamey で麻疹患者 1,630 名と死亡患者 1 名が発生しました。最も患者数が多い地域はジンデル Zinder 州で、グル Goure 患者 564 名、ミリア Mirriah 患者 119 名、タヌー-Tanout 患者 62 名、マガリア Magaria 患者 62 名と報告されました。また、マラジ Maradi 州のアギエ Aguié で患者 289 名が報告されました。

(4)コンゴ民主共和国(マニエマ Maniema 州)

[UN OCHA, ReliefWeb, UN Stabilization Mission in the Democratic Republic of the Congo]

最近、南部のマニエマ Maniema 州の 3 カ所の保健センターで 90 名以上の麻疹患者が診断されました。また本流行により、死亡患者 3 名が報告されています。同州保健大臣によると、今までのところ患者発生地域は、カバンバレ Kabambare、カソング Kasongo、キボンボ Kibombo です。

(5)フィリピン(中部ビサヤ Central Visayas 地方)

[Panay News, Philippine Information Agency (PIA) report]

保健局 7(DOH-7)は、中部ビサヤ地方で新たに 2 名の麻疹患者が発生したため麻疹対策キャンペーンを強化しました。同地域では、本年 1 月から患者 7 名が発生しています。2 名の新患者は都市部で発生しています。首都地区及び、第 4、9、11 地区での患者発生が公表されています。同国の一部地域では、麻疹患者数が増加しているため、8 才未満の子供に 1 ヶ月間にわたる個別の予防接種運動を行っています。対象者数は、中部ビサヤ地方で 140 万名、全国で 1,400 万名になります。